

# 東区 紫竹中央コミュニティ協議会

活動名：防犯パトロール

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

数年前、空き巣被害が集中して発生しました（居空・しのび・タイヤ泥棒・オートバイ泥棒）。交番からも情報を聞き、回覧などで啓蒙の取組みを行いました。また、被害者からも聞き取りを行い、それを伝える取組みも実施しました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

犯人の特徴について、情報提供を行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

防犯モデル自治会に指定されたこともあり、役員で夜間の防犯パトロールを実施しており、当該活動を今年度よりコミュニティ協議会の事業として拡大した。

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

近年、空き巣が発生しておりません。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

現状を継続します。コミュニティの一体感を出すために、名前入りのユニフォームを作成します。



# 東区 新潟市木戸地域コミュニティ協議会

活動名：海拔表示・避難場所の確認活動

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成23年3月に東日本大震災による津波、同年7月に新潟福島豪雨による水害等が相次いで発生していることから、地盤の低い木戸地域は津波・水害に対し迅速に対応が出来るような措置をとっておく必要があると考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

自分達の住んでいる場所は、どの位の海拔か、また災害時、早急に避難できる場所はどこか等をみんなに周知すること。一般の通行者にも分かるようにすること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

当該地盤の海拔表示とその場所から近距離の避難場所を表示した札を電柱に取付けることとしたが、少ない経費で効果的な取付け場所を探すため、地域全域の電柱設置状況を確認した。基本的には交差点やごみステーション等多くの方が目にする場所を選んだ。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

山木戸自治連合会

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域住民は、自分の住んでいる土地の海拔を知り、その低さを改めて認識することにより、津波・洪水の早期避難の心構えが改善されてきている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

本事業はより多くの住民に関心を持ってもらうため、表示札の電柱への取付けは各地域にお願いした。電柱への取付けについては、いろいろな留意点があることから作業前に自治・町内会長等への説明会を開催した。しかし、実際の取付け作業者までは徹底が不十分なところもあり、これから手直しの必要な箇所がある。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

表示板の取付けについては、コミ協情報誌で既に住民に知らせてあるが、今後は、この表示板に表示している避難場所への安全な避難ルートを確立して地域住民に周知する必要がある。



## 東区 江南小学校区コミュニティ協議会

活動名：災害・犯罪に強い安心安全なまちづくり活動

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

近年、国内において自然災害の多発や子どもたちが不審者による犯罪に巻き込まれたり、高齢者が交通事故・火災・詐欺などの被害者となる事案が頻発している現状から、地域内の防災・防犯体制の強化と子どもたちの交通安全を確保するため、各自治会等には、平成 19 年度当初から自主防災組織と安心安全パトロール隊の結成を主要課題として、取り組んでいる。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・防災・防犯環境の整備を図るため、自主防災とパト隊未組織の自治会等に早期結成を要請。
- ・自主防災組織結成の自治会等には、大規模災害時に備えた自主防災訓練を要請。
- ・パトロール隊結成の自治会等には、子どもたちの登下校時に巡回・巡視・声掛けの要請。
- ・パトロール隊統一行動日（別紙）を設定し、巡回・巡視の強化により、子どもたちの安全確保。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・自主防未組織自治会等対象に出前講座、又、高齢者対象に防災・交通・防火・防犯講習会の開催。
- ・自主防結成自治会等は防災訓練の実施、又、各自治会役員を対象に防災関連施設等の視察研修。
- ・子どもたちの登下校時にパト隊用の装備で交差点・通学路などの巡回・巡視・声掛けの励行。
- ・日常の散歩・買物で近くへ外出の場合も、パト隊用の帽子・ベスト・ステッカー等装着で実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

石山地区公民館



## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・交通安全・防災・防火・防犯意識の向上と連携・協調・交流の促進。
- ・子どもたちの交通事故・不審者による猥褻行為の沈静化及び火災・盗難事件等の減少。
- ・パトロール隊中心の朝のラジオ体操時には、公園内の巡回・ごみ拾いなど環境の美化。
- ・毎朝の声掛け運動から、子どもたちや住民も笑顔で挨拶するようになりパト隊員が元気を貰う。
- ・子どもや住民とパトロール隊員とに信頼関係が醸成、又、ドライバーのマナー・ルールの遵守。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・夏休み中の公園・神社などの夜間パトロール等の実施及び企画事業への参加者募集の困難性。

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・自治会等間でボランティア活動に温度差があり、地域ぐるみで安全を「共有」できる環境の整備。
- ・子どもたちや高齢者等の交通安全の確保と地域の防災・防火・防犯活動の継続。



# 東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域で子どもを見守るボランティアパトロール活動

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成 16 年頃より、全国的に不審者が出現し、子ども達が危害を受ける事例が多発した。当地区ではコミ協を立ち上げた当初より、地域が一丸となって子どもが安心して生活できる見守り活動に取り組む必要があると考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子どもたちへの声掛けや巡回を行い、犯罪などの危険な事態が子ども達に及ばないような環境をつくることです。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

全自治会に呼びかけパトロール隊員を編成し、児童の下校時に合わせたパトロールを組織的に実施しました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中野山小学校及び中野山小学校 PTA、管内の全自治会

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

次第に参加者も増えるようになり、地域の中で、「子ども達を危険から守る」という意識とともに住民同士の連携もできてきました。

また、子どもたちへの声かけにより、大人と学校の関係改善がすすみました。

さらに、巡回中パトロール隊員と地域住民との挨拶等の交流もできています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

当初は、ユニホームの調達等経費の面で大変でした。関係機関の協力を得ながら、当地域を明示したユニホームを整備してきました。また、少しでも幅広い年齢層の方からパトロールに参加してもらおう心がけています。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

少しずつ、PTA の協力も得られ年齢層が広がる一方、ベテラン層の年齢が上がり対策が急がれています。地域の安心安全を守る重要な活動なので、しっかりした対策を住民の皆さんと共有し取り組んでいきたいと考えています。



パトロール隊感謝の集い

# 東区 南中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：下校時パトロール

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・他の地区で、子どもたち（低学年児童）をねらう犯罪が発生した。また、交通事故も発生していた。
- ・この地区では、防犯及び交通安全のパトロールをしていなかった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・防犯・交通事故防止のパトロール隊を結成した。
- ・下校時の児童の安全を確保することと、交通事故を防止することを目的としてパトロールを始めた。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・隊員（ボランティア）を広く募集し、ジャケットと帽子を配布した。
- ・隊員の毎日の活動日程表を月ごとに作成して配布した。
- ・報告会と研修会を年2回行っている。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

地域のボランティア



## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・学校と地域の距離感を縮めることができた。また、児童との信頼関係ができた。
- ・地域としての防犯・交通事故防止の活動として認められた。
- ・黄色いジャケットと帽子で町内を回るため、犯罪・空き巣が減り、交通事故も減少した。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・コミ協の役員と自治会長を、当番の班長（責任者）とした。
- ・毎日の個人別の予定表を作成した。
- ・研修会を年2回行い、講師に現職の警察官及び防犯関係者を呼んだ。
- ・研修会の講演に、NAMARAの江口さんをお呼びした。

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・毎年、新1年生に、下校時パトロールを通してマナーの指導を行うと共に、犯罪の防止と交通安全の確保に努めます。
- ・安心して安全な住みよい「町」にします。
- ・地域全体の防犯及び交通安全活動としてすすめていきたい。



交通安全講話



NAMARA江口さんの講演会

# 東区 東中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：高齢者と子どもを大切に作る安心安全なまちづくり活動

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・高齢者が半数を占める自治会の増加
- ・一部地域の雨水冠水道路の改善

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・高齢者と親子が一堂に会して交流しあう活動の場づくり
- ・関係機関への働きかけに努める

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・みんなの広場（親子活動）
- ・みんなの居場所（高齢者）
- ・交通安全指導
- ・関係機関との具体的打合せ

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・学習ボランティア団体

## 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・みんなの広場、みんなの居場所は、年々参加者数が増加している
- ・子どもの交通事故件数0件
- ・冠水対策の具体的工程が示される

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・多くの人々から参加してもらうために広報と口コミに力を入れる
- ・学校との連携を図る

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・今までの活動がより充実するように努める

# 東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域住民の福祉促進活動

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成21年より、地域包括支援センター石山や社会福祉協議会の支援を受けて「地域の茶の間なかのやま」を立ち上げ、高齢者の居場所づくりを進めてきました。当地区でも高齢化が進み、地域の支えあいをさらに進めることが重要になってきています。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

支え合いがあり、誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを目指す。その第一歩として、高齢者の居場所づくりを進める。同時に、広い世代の交流の場に高齢者も積極的に参画するよう留意しました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

コミ協の事業に高齢者も活動できる場を作り、役割を担ってもらう。「地域の茶の間」を拡大し「認知症サポーター養成教室」や「介護教室」等の学習会や健康教室等の講座も開き、広く「自分の健康をどう保持するか」という意識の醸成のきっかけづくりをする。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

社会福祉協議会中野山支会、民生・児童委員協議会、地域包括支援センター石山

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

「地域の茶の間なかのやま」に参加する人が増えるとともに、ボランティアとして参加する団体がバラエティに富むようになり、地域住民の交流の輪が広がってきました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

「茶の間」の企画運営の中心になるメンバーとサブで協力する人で構成し、その連携を図る場を重視してきた。「茶の間」にボランティアとして参画する団体や個人を広く募った。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

大変困難ではあるが、財政の充実を図り、交流事業の多様化を図る。また、ボランティアの人にわずかではあっても費用弁償をする仕組みづくりをしたい。



# 東区 山の下地区コミュニティ協議会

活動名：夕日コンサート

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

山の下市場活性化の為、地域の子供たちと連携をとり、地域の大勢の方から参加してもらえる企画として、音楽が一番良いのではと取り組みしました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

近隣の小学校・高校・保育園に協力を要請しました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

山の下市場・近隣の小学校・高校・保育園に協賛していただけるよう、お願いに行きました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

桃山校区コミュニティ協議会・東山の下地区コミュニティ協議会

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域(保育園児から高齢者まで)の住民と輪が広がりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

協力者が少なかったのと、高齢者が多く対策に苦慮しました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

更に若年層への働きかけをする。



## 東区 桃山校区コミュニティ協議会

活動名：三世代交流大運動会

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

船江地区・桃山地区と世代の交流の場が少ないこと

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子ども・大人・高齢者・障がい者が交流できる行事の企画を立てること

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

皆ができること・楽しくやれることのアンケート調査等

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

桃山小学校

### 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

子ども・大人・高齢者等の交流が楽しく交流できました

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

皆が参加できる企画にしたこと

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

会場を体育館からグラウンドへ



# 東区 南中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：にいがた菜の花プランと環境づくり

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・部会の地球温暖化問題を啓発する目的
- ・近くに空き地があった

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・コミ協全体の活動として、協力者を集めた。
- ・南中野山小学校に協力を求めた。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・年間の活動計画を立てた。
- ・南中野山小学校の総合学習で、授業時間に組み入れるようお願いした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

南中野山小学校地域教育コーディネーター、南中野山小学校



苗植え込み



刈り取り



## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・南中野山小学校の総合学習に協力できた。
- ・南中野山小学校の児童との交流ができ、参加者が多くなった。
- ・校区内の名所（菜の花の観賞）を保育園児・小学生が見学。

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・高齢者が多く、畑を耕すのが大変である。
- ・耕運機を農家より借りて耕した。
- ・草取りを小学生と一緒にいった。

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・南中野山小学校の学習の中に組み込まれているため、地域と学校との協働体制を構築したい。
- ・学校を地域活動の中心として考えたい。



環境学習



油搾り体験

# 東区 牡丹山小学校区コミュニティ協議会

活動名：多世代交流音楽会

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域全体のイベントが少なく、賑やかさが感じられなかった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

できるだけ広い世代が交流できるイベントを計画した。年齢にかかわらず楽しめるものと考え、カラオケとバルーンアートを企画した。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

せっかく歌うのであればカラオケでなく生バンドで歌えるようにバックバンド探し、またバルーンアートだけでなくパントマイムもできる人探しをした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

牡丹山小学校、牡丹山幼稚園

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

期待通り幅広い年齢の人が参加して交流する事ができ、顔見知りが増え挨拶の機会も増え、賑やかさと活気が感じられるようになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

イベントの時間配分や順序や、会場の確保と演者の日程の調整、他のイベントとの調整に手間取った。カラオケのグループに声を掛け多くの参加者を募った。また幼稚園児や低学年の児童の親にアピールした。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も地域の活性化のため継続して行いたい。



# 東区 大形地区コミュニティ協議会

活動名：大形ふれあいウォークラリー

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

大形地区の特色としては、各種学校があり文教地区となっている。その中でも、県立・市立の特別支援学校や福祉支援施設があります。これらに通所されてる方々と、地域住民の交流の機会が少なく親睦を図ることがなかった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

各種学校や福祉支援施設に通所されている方と、地域住民との世代を超えた交流と親睦を図るために、だれでも参加できるウォークラリーを計画した。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

障がい者・健常者の世代を超えた人に参加をしていただくため、行事のパンフレットを作成し参加者を募集いたしました。ウォークラリー終了後、ゲームや子供たちによる樽蹴子などで楽しむ。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟県立大学

## 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

障がい者・健常者・高齢者・若い世代・子供たち、幅広い人たちとの交流により、助け合いの心、世代を超えた交流、これからの町づくり、地域での一体感が生まれた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

障がい者や子供がいるので、ルート選定に気配りをした。交通量や段差等危険箇所の事前把握、屋外での行事なので、当日の天候状況、雨天の場合の対応など。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

参加者が200名を超え、スタッフ30名。今後さらに多くの方に参加をいただき地域一体となった行事にしていきたい。スタッフも増員し、安全で楽しいウォークラリーになるよう努めたいと思います。



# 東区 江南小学校区コミュニティ協議会

活動名：紙ヒコーキ選手権

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

コミ協発足当初、コミ協として地域の皆さんが老若男女を問わず参加できる交流イベントとして発足した。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

誰でも手軽に出来て、みんなで協力しあってできる競技とすることを心がける。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

競技方法を4チームに分けた団体戦と個人戦とし、各チームにチームリーダー（折り方を指導してくれるヒコーキおじさん）を置き、指導を受けながら各自がヒコーキを作成し試技を繰り返し改良を加え、実戦に臨みます。「こうしたらいい」「ああしたらいい」とみんなで協力する場面が生まれました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

江南小学校

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

非常に手軽な競技ですが奥の深いところがあり、大人も子供もやり始めるとハマってしまいます。5秒以上飛ばそうものなら、みなさんから拍手喝采です。  
子供と大人が同じ競技に夢中になれるところがこの紙ヒコーキ大会を開催することの意義です。  
この大会を運営するためのヒコーキおじさんをはじめとする多くの地域のボランティアの皆さんがいらっしゃることは素晴らしいことです。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

コミ協発足当時から続いている大会で今年で5回目になります。大会運営に協力してくれる学校、PTA、地域のボランティア団体の皆様に感謝いたしております。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

まだまだマイナーな大会ですので今後も競技内容の改良を加え、広く地域の皆さんが参加できる一大イベントにしていきたいと考えております。



## 東区 東山の下地区コミュニティ協議会

活動名：自治連合会の解散とコミ協への1本化の体制作り

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成23年の春、当コミ協は設立から約5年を経過しましたが、まだ、コミ協とはどういうものか、また、従来の自治連合会との違いが良く分からないとの声も多く聞かれました。更に、コミ協と自治連合会の予算も二本立てで複雑であったことから、効率的な運営の点からも自治連合会を発展的に解散し、コミ協への一本化を計画しました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

23年度は準備期間とし、24年度からの1本化を目標としました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

23年度の自治連合会及びコミ協の総会において、24年度からの自治連合会の発展的解散、コミ協への一本化の承認を得ました。

4回の役員会において、組織図・規約の改正・役員体制・予算の1本化への素案作り及び修正を重ね、24年度の総会で承認を得るべく準備を進めました。

## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

24年度から1本化がスタートし、5部会（自治・総務部会、環境・衛生部会、民生・福祉部会、安心・安全部会、教育・育成部会）を中心とする活動体制が整いました。

部会を通しての構成団体間の情報交換及び共働関係が深まり、三世代交流大運動会や、青少年育成研修会、高齢者お楽しみ会、福祉研修会、もちつち・ゲーム大会、福祉ボランティア活動など連携事業の充実が図られました。

当コミ協が中地区コミセンの指定管理者になったのを契機に、コミ協の事務所をコミセン内に置くことができ、活動の拠点ができました。

予算の1本化により効率的な運営が可能となりました。

（自治・町内会からの自治連合会への会費はコミ協への会費に変更）

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

歴史ある自治連合会の解散に対する理解を得ること。

コミ協でも自治・町内会が活動の中心であることを理解してもらいました。

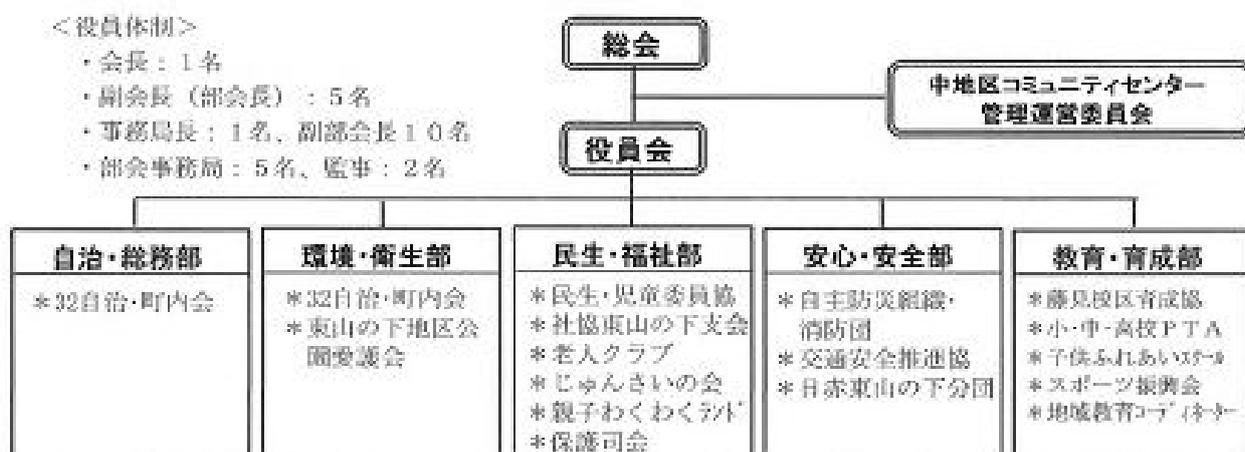
新体制での役員体制の構築

各部会で部会長、副部会長、部会事務局を選任し、部会長はコミ協の副会長として、副部会長及び部会事務局は役員としてコミ協の運営にあたることにしました。

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

コミ協への参画に消極的な自治・町内会もあるので、積極的に参画してもらえる魅力あるコミ協の運営に努めたいと考えています。

## 《東山の下地区コミュニティ協議会の組織図》



## 東区 下山地区コミュニティ協議会

活動名：下山地区交通安全フェスティバル

### 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

H22.4.1 下山地区コミ協の交通安全諸団体による、交通安全部会が設置され、下山地域内から、交通事故や事件のない、安全・安心な街作りと明るく住みよい環境を目指し、地域住民の安全確保と交通安全思想の高揚を図ることを目的課題としたもの。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

交通安全部会は、下山校区交通安全推進協議会、東新潟交通安全協会（空港支部・太平支部・下山支部）、新潟市高齢者交通安全委員、地域交通安全活動推進委員、新潟東警察署 長寿社会交通安全アドバイザーの各団体が「地域ぐるみの交通安全」という共通認識のもとに活動を展開するものである。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

各団体ごとの事業活動のほかに、秋の全国交通安全運動の一環として、下山地区交通安全フェアを交通安全部会の総力を挙げて取り組んでいる。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市・新潟県警察本部・新潟東警察署・(財)新潟県交通安全協会



## 実績・効果

### Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

第1回から第4回まで開催し、毎回400～500人の地域の子ども・大人の参加を得て、交通安全の啓蒙を図っている。

(交通安全、地域安全チラシ、交通安全グッズ、交通安全ティッシュ等配布)

### Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・会場が下山スポーツセンター、下山コミュニティハウスのエントランスホール、玄関先外と限られたスペースである為、かなり手狭であった。
- ・よいこの交通安全約束免許証の交付は慣れないスタッフは難しい。(写真撮影等)
- ・ちびっ子白バイ隊員制服の試着は人気があり順番待ちである。(効率よくやる)

### Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・交通安全フェアは継続し、地域の安全・安心な街づくりに貢献して行きたい。
- ・交通安全フェアの規模はこれ以上拡大はできないので、現状の中でやりくりしてゆく。
- ・シートベルト・エアバック体験、飲酒運転体験ゴーグル、自転車教室、交通安全クイズなど、体験型のコーナーは好評であるので継続する。

